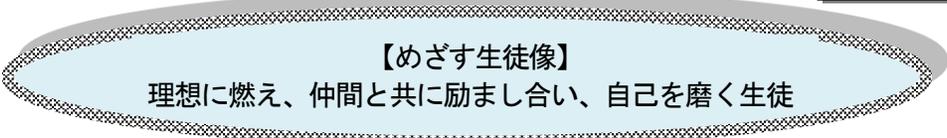
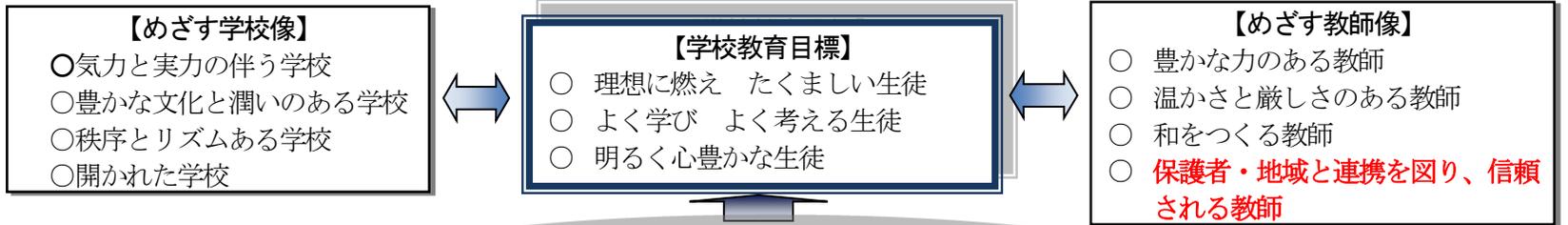


# 令和6年度 一関市立巖美中学校アクションプラン



- 【 経 営 方 針 】**
- 1 「学力 (知育)」「心 (徳育)」「健康・体力 (体育)」を指導の中心課題とする。
  - 2 職員一人一人が自己の役割と責任を明確にし、全職員の共通理解を図りながら推進する。
  - 3 学校・家庭・地域のより良い連携を図り、望ましい教育環境や教育活動の充実に努める。
  - 4 岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災津波を風化させないように復興教育を推進する。

**心身共に健康な生徒の育成**

- (1) 基本的な生活規律の育成
  - ・「早寝、早起き、朝ごはん」、「食育」
  - ・時間を守る行動と服装・礼節指導
  - ・情報モラル教育 (スマホ利用等) の推進
- (2) 創意に満ちた生徒活動の実践
  - ・行事を通して責任感や成就感等の育成
  - ・生徒会による生活・学力向上運動
- (3) 鶏舞の継承と「ふるさと隊」の推進
  - ・鶏舞の継承活動
  - ・「ふるさと隊」への参加 (一人2回以上)
- (4) 進路目的意識の高揚
  - ・キャリア教育の充実
  - ・コンクールや大会等への積極的参加
- (5) 自他の敬愛の育成
- (6) いじめのない学校づくり
  - ・アンケートの実施、**日常観察場面の拡大**
- (7) 礼節を基盤とした部活動の推進
  - ・挨拶の活性化と基礎体力の向上
  - ・**地域部活動の定着と推進**
- (8) 掲示物や教室の整頓等学習環境の美化
  - ・教室及び校内環境に対する意識の高揚

**確かな学力の定着**

- (1) 基本的な学習規律の育成
  - ・授業の挨拶、挙手、発表、聞く態度、ノート取り方等の指導の徹底
  - ・忘れ物防止と授業の準備
- (2) 授業力の向上と個に応じた指導の充実
  - ・個々の教師の授業力の向上 (「学習課題」「板書」「振り返り」「言語活動」等)
  - ・個に応じた指導
- (3) 家庭学習の定着
  - ・授業と連動した家庭学習プリントを提供
  - ・家庭学習の見届けと評価、事後指導
  - ・「学びのすすめ」の活用
  - ・「ノーメディアデー」の実施
  - ・各種検定の受検の奨励
- (4) 朝読書の実践
- (5) 諸検査を有効活用した取り組みの実践
  - ・各種検査結果の分析とその補充
  - ・校内研修会等を活用した授業力の向上
- (6) 陰山メソッドの取組
- (7) GIGA スクール・ICT 環境の整備、推進

**復興教育の推進**

- (1) 命を大切にして、生き抜く力の育成
  - ・「道徳の時間」を要とした平素の指導
  - ・キャリア教育を推進し夢や希望を持たせる指導の充実
- (2) 人や地域との絆づくり
  - ・人と人との繋がりの大切さを学ぶ福祉体験・資源回収等の実施 (SDGs)
  - ・他の人や地域社会に役立つ喜びを知るボランティア活動の実施 (SDGs)
  - ・ふるさとへの理解を深める伝統芸能「鶏舞」の伝承
- (3) 防災や安全への備え
  - ・岩手・宮城内陸地震にちなんだ防災学習
  - ・被災地体験を通して、東日本大震災津波とその被害の理解
  - ・自分の身を守るための避難訓練の実施
  - ・身を守り、生き抜くための応急手当や心肺蘇生法の学習

**【特別支援教育の推進】**

- (1) **特別支援会議の定例化 (月1回程度)**
- (2) 個別の指導計画や支援計画の作成とその活用
- (3) 特別支援教育に係る校内研修の促進
- (4) 全教職員による支援体制の構築
- (5) 保護者、外部機関等との連携
- (6) **見通しを持った適切な進路指導**

**【開かれた学校づくりの推進】**

- (1) **学校運営支援協議会立ち上げ、継続的な小中の連携 (学期1回は交流を)**
- (2) 教職員による自己評価、保護者や生徒等の学校関係者評価等による学校運営の改善と充実
- (3) 各種の行事、授業参観等の実施による学校訪問機会の拡大
- (4) 外部講師の積極的活用と、地元企業や福祉施設などを活用しての体験活動の実施
- (5) 校報等による積極的情報発信と地域行事やPTA行事を始めとして様々な機会を通しての情報受信

**家庭・地域との連携を図り、子どもたちのさらなる向上のために全力で取り組みます。**

- 基本的な生活習慣を身につけさせて下さい。  
家庭での挨拶の励行 「早寝、早起き、朝ごはん」「食育」の推進 治療勧告を受けた場合の積極的受診  
**ルールを決めてのスマホやSNS、ゲームの使い方**
- 家庭学習時間の確保と「ノーメディア期間」の設定をお願いします。  
家庭学習、読書、コミュニケーションなどをする時間をもちましょう。  
家庭学習時間の**基本** 1・2年生：1時間半～ 3年生：2時間～
- 「ふるさと隊」への参加の促進と協力をお願いします。
- 子どもの前で、学校や他の子どもや家庭などの批判はしないでください。(要望意見などありましたら直接学校へお願いします。)
- 親子、家族とのふれあいを。家庭においても規範意識を育てましょう。将来の夢や進路について話し合う時間を持ってください。学校生活の様子を聞いてみてください。お便りなどないか確認してください。
- **地域部活動制度へのご協力をお願いします。**